

『男性対象』もしくは『男性にとっての男女共同参画』をテーマとした研修

2024年度 実施報告書

特定非営利活動法人全国女性会館協議会御中

下記のとおり、報告いたします。

報告日 2025年 1月 25日

1 施設概要

施設名	世田谷区立男女共同参画センターらぷらす	
代表者名・職名	阪口さゆみ・館長	
住所	(〒154-0004) 東京都世田谷区太子堂 1-12-40 グレート王寿ビル3階	
	電話 03-6450-8510	FAX 03-6450-8511
担当者名・職名	主担当 阪口さゆみ	
	E-mail s-sakaguchi@kshowa.or.jp	

2 事業の概要

事業名	男女共同参画事業に携わる方のための男性対象事業研修 男性向け講座の企画ヒントを学ぶ
趣旨、ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 男性事業担当者と男性相談員と共に、男女共同参画センターにおける男性対象事業の位置づけを再確認する。 他館の男性対象事業担当者と男性相談員とつながり、各地域の男性来館者のニーズと各館の抱える課題について意見交換を行い、男性対象事業を企画する際の留意点を共有する。 全国男性対象事業担当者とのネットワークの構築と、男性対象事業のノウハウを共有する。
対象者と定員	対象：男女共同参画センター、女性会館の職員・男性相談員 定員：30人
実施日	2024年12月14日(土) 10:00~17:30 一般公開講座として、12月13日(金) 13:00~15:00
プログラム概要	<p>12月14日(土)</p> <p>【開会】挨拶・本日の流れの説明</p> <p>【講義1】「男性として生きる中で抱える心理的な課題について」 講師：西井開(にしい・かい)さん</p> <p>【講義2】「男性問題への取り組み～家庭もしくは親密な関係性における暴力への対応の経験をもとにして～」 講師：中村正(なかむら・ただし)さん</p> <ul style="list-style-type: none"> 講義1・2では、男性とそのジェンダー問題の捉え方について再考するために、男性学の視点から、育児・働き方関連以外の男性の悩み・生きづらさを例示しながら、男性とその悩み・生きづらさの多様性について学んだ。 <p>【ワークショップ・講評】「男性対象事業の企画・実施の工夫について」</p> <ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画事業における男性対象事業の現状や、企画する際の困難に

	<p>ついて再確認し、男性と対象とした講座の企画案を作成・発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・谷口常任理事、小埜講師（12/13の講師）、中村講師からの講評とまとめをいただいた。 <p>【交流会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに振り返りと、席替えをしながら交流を行った。 <p>【閉会】アンケート記入・閉会</p>
実参加者数	14人
アンケート結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・情報入手先は、協議会のメーリングリストが9人と一番多かった。 ・参加理由には、「講座内容に関心がある」が一番多かったが、次に、「担当者（もしくは、担当予定）だから参加した」と「情報交換のため」があがっていた。 ・講座内容について、2つの講座は、大変満足・満足で100%となったが、ワークショップには、やや不満が一人いた。 <p>やや不満の方の回答（原文ママ）：もう少し構造化されたワークであったらよかったなあと思いました。ちょっとふわっとした感じの設定だったかなと思います。アウトカムベースでロジックをしっかりと考えないと、何が目的なのかよくわからない事業になってしまうように思います。</p>
担当者所感	<ul style="list-style-type: none"> ・男性対象事業は、初めての取り組みであったが、全国から14人が参加した。前日にらぶらす主催での一般公開講座「男性たちによるジェンダー規範からの解放：日本のメンズリブ運動史と男性学の展開」（講師：小埜功貴（おの・こうぎ）さん）を実施した。そこにも研修の受講生に何人かが参加していたことから、関心の高さを感じた。 ・講義2の中村講師は、男性学の創設時から関わっており、男性学の成り立ちから、専門家がいない現状等、興味深い内容だった。 ・ワークショップでは、男性対象事業の企画案を立てるものだったが、こちらの指示が明確でなかったせいも、従来のMLB型の父親対象の企画を立てるグループがでた。次回行う場合は、ワークショップに入る前に、講義の振り返りをする等、工夫が必要。